

2018年度第2回新潟競馬特別レース名解説

<第1日>

○ 閃光特別

閃光（せんこう）は、瞬間的に強く発する光のこと。本競走は、閃光の如く直線を駆け抜ける競走馬のスピード感をイメージして名付けられた。

○ 月岡温泉特別

月岡温泉（つきおかおんせん）は、新潟県新発田市にある温泉。大正時代、石油採掘中に温泉が噴出したことが始まり。硫黄成分の含有量が多く、美人の湯として有名。

○ 佐渡ステーキス

佐渡（さど）は、佐渡島の旧国名。北陸道七ヶ国のひとつ。また、佐渡島全域を占める市。佐渡島は、新潟県に属する日本海最大の島。尖閣湾や外海府海岸など観光地が多い。江戸時代には、佐渡金山で繁栄した。

<第2日>

○ 村上特別

村上（むらかみ）は、新潟県北部、日本海に面する市。かつては、村上藩の城下町として栄えた。市街地を流れる三面川の鮭や村上牛が有名。また、日本海沿岸には瀬波温泉や粟島航路の岩船港があり、観光都市としても知られている。

○ 苗場特別

苗場（なえば）は、新潟県と長野県の県境にある上信越高原国立公園に属する火山。標高 2,145m。名は、山頂に点在する湖沼にミヤマイが繁茂し、「苗代田」に似ていることに由来する。山岳スキーに適しており、南東の筍山山麓には苗場スキー場がある。

○ サマースプリントシリーズアイビスサマーダッシュ（GⅢ）

サマースプリントシリーズの第3戦。

本競走は、平成13年に創設された重賞競走。直線芝1000mを舞台に、3歳以上馬による別定重量戦で実施される。

アイビス（Ibis）は、「トキ」を意味する英語。トキは新潟県の県鳥であり、新潟競馬場の「アイビススタンド」の名称にも使用されている。

<第3日>

○ ダリア賞

ダリア (Dahlia) は、メキシコ原産のキク科の多年草。名は、スウェーデンの植物学者アンデシュ・ダール (Anders Dahl) に由来する。花言葉は「華麗」「優雅」。

○ 信濃川特別

信濃川 (しなのがわ) は、新潟県と長野県にまたがる川。延長約 367 k m は日本最長。関東山地の甲武信ヶ岳に源を発し、長野盆地、越後平野を経て、新潟市で日本海に注ぐ。上流を千曲 (ちくま) 川、犀 (さい) 川と呼び、2 つの川が合流する地点が古戦場として有名な川中島である。

○ 越後ステークス

越後 (えちご) は、新潟県本州部の旧国名。北陸道七ヶ国のひとつ。現在の新潟県の佐渡を除く全域にあたる。越国 (こしのくに) が、越後・越中・越前の3国に分けられたことにより成立した。

<第4日>

○ 燕特別

燕 (つばめ) は、新潟県中部、越後平野の中央に位置する市。市内には信濃川が流れる。ホテルや洋食器の生産で有名。

○ 驀進特別

驀進 (ばくしん) は、まっしぐらに進むこと。本競走は、競走馬がゴールを目指してまっしぐらに進む様子をイメージして名付けられた。

○ レパードステークス (GⅢ)

本競走は、3歳ダート適性馬の出走機会の拡大を目的として、平成21年に創設された重賞競走。

「レパード (Leopard)」は、イギリス国王の紋章である盾の脇に描かれている獅子。また、「豹」を意味する英語。古代ローマでは、豹の息には不思議な香りがあるとされ、それによって動物たちを狩ることができるかと恐れられた。そして、その香りに対抗できる唯一の動物がユニコーンだと信じられていた。

<第5日>

○ 三面川特別

三面川（みおもてがわ）は、新潟県と山形県の県境にある朝日連峰を水源とし、新潟県村上市で日本海に注ぐ川。江戸時代から鮭の遡上で知られている。

○ 麒麟山特別

麒麟山（きりんざん）は、新潟県東蒲原郡にある山。名は、中国の想像上の動物「麒麟」の姿に似ていることに由来する。山の頂上付近にある展望台からは、阿賀野川を一望できる。

○ 新潟日報賞

新潟日報は、新潟日报社より発行されている地方紙。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第6日>

○ 豊栄特別

豊栄（とよさか）は、新潟県中部にあった旧市名。昭和 45 年以来市制を敷いていたが、平成 17 年に新潟市に編入された。

なお、同地区は新潟競馬場の所在地でもある。

○ 柳都ステークス

柳都（りゅうと）は、かつての新潟市街地の呼称。昭和 30 年代半ば頃まで新潟島の中心部は堀が張り巡らされており、名は、その兩岸に柳並木が続いていたことに由来する。平成 14 年には、新潟市中央区を流れる信濃川に架けられた橋梁である「柳都大橋」が開通した。

○ サマーマイルシリーズ関屋記念（GⅢ）

サマーマイルシリーズの第 2 戦。

本競走は、旧新潟競馬場の所在地「関屋」の名を残すため、昭和 41 年に創設された重賞競走。当初は 2000m のハンデキャップ競走として実施されていたが、50 年には 1600m となり、58 年からは負担重量が別定に変更され現在に至る。

旧新潟競馬場は新潟市関屋字青山下百間割にあったが、戦後長期間にわたって中央競馬は開催されていなかった。昭和 30 年代後半になると競馬再開の機運が高まり、40 年に新潟市東部の現在地に新たな新潟競馬場が完成し、22 年ぶりに中央競馬が再開された。

<第7日>

○ 出雲崎特別

出雲崎（いずもぎき）は、新潟県中部の町。日本で初めて石油掘削の機械方式を用い成功した場所として知られる。特産品としては、紙風船が有名で、国産品のシェア日本一を誇る。

○ 岩室温泉特別

岩室温泉（いわむろおんせん）は、新潟県中西部にある温泉。泉質は塩化物泉。江戸時代より北国街道の温泉地として栄え、近接する弥彦神社への参拝客で賑わった。

○ 日本海ステークス

日本海（にほんかい）は、日本列島と樺太、朝鮮半島との間にあるアジア大陸の縁海。間宮・宗谷・津軽・対馬・関門の5海峡で外海と連なり、黒潮から分流する対馬海流、沿海州に沿って南下する諸寒流が流れている。

<第8日>

○ 新発田城特別

新発田城（しばたじょう）は、新潟県新発田市にある城。周囲に菖蒲（あやめ）が多く咲いていたため、菖蒲城とも呼ばれる。鎌倉時代に新発田氏により築城されたと言われている。

○ 阿賀野川特別

阿賀野川（あがのがわ）は、新潟県と福島県にまたがって流れる川。延長約210km。猪苗代湖に源を発する日橋川と尾瀬沼に発する只見川とが合流し、新潟市東部で日本海に注ぐ。流域には豊富な水量を利用した水力発電所が多く、電源地帯を形成している。

○ NST賞

NSTは、新潟市に本社を置く新潟総合テレビの略称。昭和43年の開局で、フジテレビ（FNS）系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第9日>

○ 新潟ジャンプステークス（J・GⅢ）

本競走は、平成 11 年に創設された障害重賞競走。芝 3200mのハンデキャップ競走として創設されたが、馬場改造工事に伴い、13 年から距離が芝 3250mに、21 年からは負担重量が別定に変更された。ホームストレッチでは 1 周目に 3 回、2 周目に 1 回の計 4 回障害飛越が行われ、競走馬の障害飛越を間近で見ることが出来る迫力ある競走となっている。

○ 瀬波温泉特別

瀬波温泉（せなみおんせん）は、新潟県村上市、日本海に面した温泉。明治 37 年に石油を掘削していたところ、温泉が噴出したことが始まり。

○ 稲妻ステークス

稲妻（いなずま）は、空中電気の放電によって生じる電光。また、それが雲に反映したものの。動作が非常にすばやいことや、時間が極めて短いことの例えにも用いられる。

本競走は、稲妻の如くダイナミックに直線を駆け抜ける競走馬をイメージして名付けられた。

○ BSN賞

BSN は、新潟市に本社を置く新潟放送の略称。ラジオは昭和 27 年の開局、テレビは 33 年の開局と共に TBS 系列。本競走は、同社より寄贈賞を受けて実施されている。

<第10日>

○ 五頭連峰特別

五頭連峰（ごずれんぼう）は、新潟県北部、五頭連峰県立自然公園内にある菱ヶ岳と五頭山を中心とする連峰。新潟競馬場の向正面奥に見える。周辺は温泉・キャンプ場・ゴルフ場などが充実しており、シーズン中は多くの観光客が訪れる。

○ 朱鷺ステークス

朱鷺（とき）は、ペリカン目トキ科の鳥。学名は「*Nipponia nippon*（ニッポニアニッポン）」。国際保護鳥、国の特別天然記念物に指定されており、新潟県の県鳥でもある。明治時代の中頃までは日本各地に生息していた。佐渡市にある「佐渡トキ保護センター」では、トキの保護・繁殖が行われている。

○ 新潟2歳ステークス（GⅢ）

本競走は、昭和43年にオープン特別として創設された『新潟3歳ステークス』を前身とする重賞競走。56年に重賞競走に昇格した。平成9年には距離が1200mから1400mへ、さらに14年からは1600mへと延伸され、2歳世代で最初に実施されるマイル重賞となった。

<第11日>

○ 糸魚川特別

糸魚川（いといがわ）は、新潟県南西部、姫川下流域に位置する市。糸魚川静岡構造線が通り、日本の東西の境界線上に位置する。古来より、翡翠（ひすい）や石灰石が産出されることで有名。

○ 弥彦特別

弥彦（やひこ）は、新潟県中部にある村。同村と長岡市にまたがってそびえる弥彦山は、佐渡弥彦米山国定公園の中核をなす標高634mの山であり、弥彦神社の霊峰である。弥彦神社の燈籠神事は、昭和53年に国の重要無形民俗文化財に指定された。

○ 長岡ステークス

長岡（ながおか）は、新潟県中部にある市。信濃川の下流に位置することから古くより河川交通が発達し、活発な商業活動が行われていた。毎年8月2・3日に開かれる「長岡まつり」の花火は、日本三大花火大会のひとつである。

<第12日>

○ 両津湾特別

両津湾（りょうつわん）は、新潟県佐渡島の北東部にある湾。定置網の漁場としては日本有数で、イナダやブリなどの漁獲が多い。湾奥には両津港がある。

○ 飯豊特別

飯豊（いいで）は、山形・福島・新潟の3県にまたがる連峰。名は、山容が飯を豊かに盛った姿に似ていることに由来する。最高峰は標高2,128mの大日岳。非火山性の山としては東北一の高さを誇る。

○ サマー2000シリーズ農林水産省賞典新潟記念（GⅢ）

サマー2000シリーズの最終戦。

本競走は、昭和40年の新潟競馬再開と同時に創設された重賞競走。創設当初より3歳以上、2000mのハンデキャップ競走として実施されている。40年代には秋に実施されていたこともあったが、49年以降は夏季に行われており、夏の新潟競馬の総決算として定着している。

○ 雷光特別

雷光（らいこう）は、稲光・稲妻のこと。本競走は、直線1000mのコースを、競走馬が雷の光のように一瞬で駆け抜ける様をイメージして名付けられた。